

北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズに的確に応えようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

## 特集

## NPO活動とファシリテーション

まちづくりや会社経営など、さまざまな分野で広がりをもせる「ファシリテーション」。会議やワークショップの進行だけでなく、とまらないその力と、NPO活動にとっての意義を考えます。

### 【 場を支えるファシリテーション 】

あなたの団体は会議の進め方で困っていませんか？ 議論が堂々巡りしていたり、一部の人ばかりが発言していませんか？ ファシリテーションには、「意見が出ない」「出てもまとまらない」会議を変えるヒントが詰まっています。

「ファシリテーション」の意味は「容易にすること、促進すること」です。会議やワークショップの現場では、「中立な立場で、チームのプロセスを管理し、チームワークを引き出し、そのチームの成果が最大となるように支援する」(「ファシリテーター型リーダーの時代」フラン・リース、プレジデント社)ことだと定義されています。さまざまな背景を持つ参加者が積極的に議論に参加し、自主的にものごとを決める場をつくり、支えることがファシリテーションの本質です。

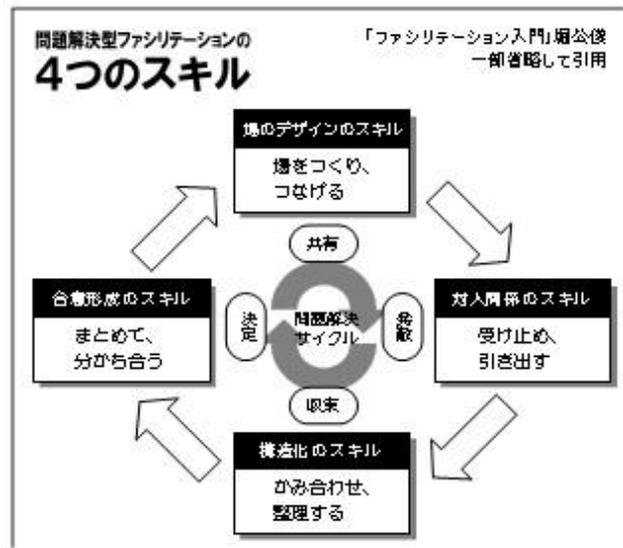
### 【 会議の段階とスキル 】

ファシリテーションが力を発揮するのは、問題を洗い出して解決方法を探る創造的な会議です。

この問題解決型の会議にはいくつかの段階があります。例えばお祭りの打ち合わせを考えてみましょう。目的やおおよその日程、資金などの情報を分かち合い(共有)、企画のアイデアを出します(発散)。出されたアイデアの実現性や魅力を評価して絞り込み(収束)、具体的にどうするか合意します(決定)。

ここには「共有」「発散」「収束」「決定」という4つの段階があります。NPOは「発散」を比較的得意としています。NPO活動の原動力は、メンバーが持ち寄る多様な価値観が刺激し合って生み出されるものです。この多様な価値観が「発散」を促進します。一方で価値観の多様さは円滑な「収束」にブレーキをかけるものになることがあります。こうした相性は、利益というモノサシで最終的な判断を下す企業と正反対です。

ファシリテーター(進行役)にはどんな場でもコミュニケーション能力と論理力が求められますが、4つの段階それぞれに重要視されるスキルがあります。NPOにとって大きな成長の可能性を秘めているのは、意見や情報を論理的にまとめる「収束」のスキルだと考えられます。



## NPO活動とファシリテーション

### 【まとめる基本は板書術】

「収束」の基礎となるのは「意見や情報など会議で発言された内容を、ホワイトボードや模造紙に参加者に分かりやすく書き留めていく」スキルです。これをファシリテーション・グラフィック(FG)、FGを担う書記をグラフィッカーと呼びます。会議の参加人数に合わせて、一人でファシリテーターとグラフィッカーの二役を兼ねることも、二人で分担することもあります。

FGはファシリテーションの核となるスキルの一つです。FGを使うことで、参加者は自然に視線を上げてコミュニケーションをとるようになります。同じ情報を目で見ながら議論するので、話のポイントやペースを合わせることが容易です。さらに参加者に発言が受け止められている安心感を与えること、アイデアを参加者全員で育てられること、可視化により観点のヌケやモレに気づきやすくなることもFG導入のメリットです。

FGでは聴く力と情報編集力をフル回転させなければなりません。始めることは簡単です。マーカーを手にメンバーの前に立って宣言すれば、すぐに始められます！文字の書き方、図表、配色やイラストなど、ポイントはいろいろあります。しかし会議目的を明確に書き出し、分かりやすさと読みやすさに努めれば効果は表れます。

### 【社会を変えるツールとして】

ファシリテーションが支える場は組織内部だけでなく、地域にもあります。

従来、自治体の総合計画や個別計画の策定は、行政組織とコンサルティング会社が担い、住民参加の場を付け加えてきました。いま一部の自治体は、そうした計画策定のプロセスにファシリテーション機能を有するNPOがかかわることを期待しています。

背景には不況の影響もあるでしょう。しかし何より、住民がプロセスにさらに深くかかわる必要性を認識し始めたためではないでしょうか。地域に根をおろした計画をつくり、本気で実現を目指すには、住民側の主導が欠かせません。地域のNPOが分野特性を生かして政策形成の場をつくり、支える経験は、まちとNPOの双方にとって何ものにも変えがたい財産になるでしょう。

例えば道内では2008～17年度を計画期間とする第7期北海道総合開発計画に基づいて、自治体が計画策定・改定に乗り出す動きがあります。NPOがファシリテーションを組織内部の運営だけでなく、社会変革のツールとして生かすことができるチャンスです。多くのNPOがこうした機会を生かせればよいと思います。

### 【スキルアップは経験が勝負】

ファシリテーションの関係書籍はここ数年で多く出版されており、情報には事欠きません。しかし相手はチームという参加者の顔ぶれ一つで変化する繊細な生き物。スキルアップに最も必要なのは、やはり場数です。できるだけ真剣勝負を繰り返し、試行錯誤の中で知識を消化して自分のスタイルを見つけることが大切です。

FG学習ネットワークは、北海道を盛り上げたいと考えているNPOとファシリテーションについての実践的な情報を共有したいと考えています。2009年3月には協働開催講座とスキルアップ講座を開きます。協働開催講座では、このスキルを生かして活動を展開している道内NPOの対談を企画中です。講座名など詳細が決まり次第お知らせします。ぜひご参加ください。

- ・協働開催講座 3月1日(日)13:00～16:00
- ・スキルアップ講座 3月7日(土)10:00～18:00

溝渕清彦(FG学習ネットワーク)

#### 【参考文献】

- 1 「ファシリテーション革命」中野民夫、岩波書店
- 2 「ファシリテーション入門」堀公俊、日本経済新聞出版社 ほか

# センターインフォメーション

今年度、センターで開催した講座等を一部紹介します。

## 「市民活動スタッフ養成講座」

～ NPO・NGOスタッフトレーニング～

10月26日(日) 11月1日(土) 8日(土) 15日(土) 16日(日)の5日間(30時間) NPO・NGOの活動に関わっている、もしくは関わろうとしている市民の方々を対象に、各々が市民活動についての知識や実践的スキルを身につけ、新たな社会づくりに活かしていくための研修講座を開催しました。

「NPO・NGOをよく知ろう」(概論)「現場スタッフの声を聞こう」(市民調査の手法)「活動のマネージメントを学ぼう」(組織運営)「活動をデザインしよう」(活動計画)「活動を広く知ってもらおう」(企画・広報)をテーマにそれぞれの実践者や専門家から学びました。

参加者からは「最初は漠然としていて夢が徐々にはっきりし形になっていくのが面白かった」「自己紹介、グループ討議、共同作業、発表、意見交換をする場が沢山あり大変良い経験と多くのことを学びました」などの感想がありました。



## 「市民活動ミニフェア」

～市民活動パネル展～

12月10日(水)～15日(月)の6日間、当センターの研修コーナーで、NPO 法人景観ネットワークと共催して「市民活動ミニフェア～農業景観のくに・根釧台地にひろがる文化的景観」パネル展及び活動報告上映を開催しました。

北海道遺産・格子状防風林が展開する道東の景観を活用したまちづくりの紹介や第2回根室管内フォトコンテスト「可能性の大地」の入選作品が多数展示され、延べ110名の方にご観覧いただきました。ありがとうございました。

## 「NPO実務講座」

～基礎・組織運営編/法人設立手続編～

今年度6回開催する「NPO実務講座」は、11月4日(火) 5日(水)に3回目を開催し、4日の「基礎・組織運営編」は講師に東田秀美さん(市民活動スペースアウ・クル代表、NPO 法人旧小熊邸倶楽部理事長)を5日の「法人設立手続編」は井川智さん(北海道環境生活部生活局道民活動文化振興課主査)をお招きし、それぞれ「市民活動の基礎知識から組織づくりの入門編」と「NPO 法人の制度や設立に必要な要件、手続き、書類作成のポイント」などについて学びました。

参加者からは「NPO 法人とNPOの違いがよくわかりました」「具体的な例が多く分かりやすかった」「実務的な流れが理解できました」などの感想がありました。

3月までにあと3回開催する予定です。是非ご参加ください。



# センターインフォメーション

参加者  
募集中

## 当センターで開催する事業のお知らせ

### 市民活動協働開催講座

#### ～自治基本条例制定の注意点と 政策としての「市民参加」の課題～

日 時：平成21年3月5日（木）13:00～16:30  
場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー  
対象者：行政職員、NPOに関心ある方等  
内 容：講師：水澤 雅貴さん（公共政策研究所 理事長）  
「市民参加の環境調査」から見る市民参加の課題  
自治基本条例制定の意義と課題  
参加料：1,000円  
定 員：30名（先着順）  
共催団体：NPO法人 公共政策研究所

### 市民活動スキルアップ講座

#### ～市民活動団体が経済的に 自立できる事業について（仮）～

日 時：平成21年2月24日（火）10:00～16:00  
場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー  
対象者：市民活動実践者及び関係者  
内 容：講師 川北 秀人さん  
（IHOE: [人と組織と地球のための国際研究所]代表者）  
決まり次第、ホームページでお知らせします。  
参加料：1,000円  
定 員：20名（先着順）

### NPO実務講座

#### ～基礎・組織運営編 / 法人設立手続編～

この講座は、市民活動を展開していくための基本的な知識や手法について学ぶ「基礎・組織運営編」とNPO法人設立に必要な手続きや書類作成に関する知識の習得を図る「法人設立手続編」とがあります。

日 時：平成21年1月18日（日）  
「基礎・組織運営編」13:00～14:45  
「法人設立手続編」15:00～16:45  
2月、3月にも各1回開催します。  
場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー  
対象者：市民活動に関心のある方、すでに活動している方など  
内 容：「基礎・組織運営編」  
講師：東田 秀美さん  
（市民活動スペースアウ・クル代表、NPO法人財団職員課課長）  
講義：「NPOとNPO法人の基礎知識  
（メリット・デメリット他）」  
「組織づくりの入門編」など  
「法人設立手続編」  
講師：井川 智さん  
（北海道環境生活部生活局道民活動文化振興課協働推進グループ主査）  
講義：「申請に必要な手続き」  
「書類作成の留意事項」など  
参加料：各300円（資料代）  
定 員：各20名（先着順）  
道民カレッジ連携講座

### ～NPO法人決算相談会～

日 時：平成21年2月27日（金）13:00～17:00  
平成21年2月28日（土）13:00～17:00  
場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー  
対 象：NPO法人及び市民活動団体等  
内 容：会計に関する相談（決算処理相談等）  
税理士が個別にアドバイスします。  
税理士：佐藤 はるみ さん  
瀧谷 和隆 さん  
参加料：無料  
定 員：16団体（先着順：1団体50分）

## 当センターでは、市民活動に関する 疑問・質問に相談員がお答えしてい ます。

「NPOって何ですか?」、「ボランティア募集の情報を知りたい」、「助成金に関する情報を得るにはどうしたらいいの?」、「市民活動団体の運営についてアドバイスを受りたい」、「現在の活動団体をNPO法人化したい」など市民活動に関わる相談に相談員がお応えします。

直接来所、電話、FAX、メールなどで、お気軽にご相談下さい。

・TEL：011 261 4440  
・FAX：011-251-6789  
・E-mail：center@do-shiminkatsudo.jp  
・URL：http://www.do-shiminkatsudo.jp

## 編集後記

冬至も過ぎ、日が少しずつ長くなってきますが寒さは厳しくな  
ってきますね。体調に気を付けて冬を乗り切りましょう。（ヤ）

各講座の概要や申込等、詳しくは当センターホーム  
ページをご参照下さい。

他にも助成金情報なども公開中です。

<http://www.do-shiminkatsudo.jp/>